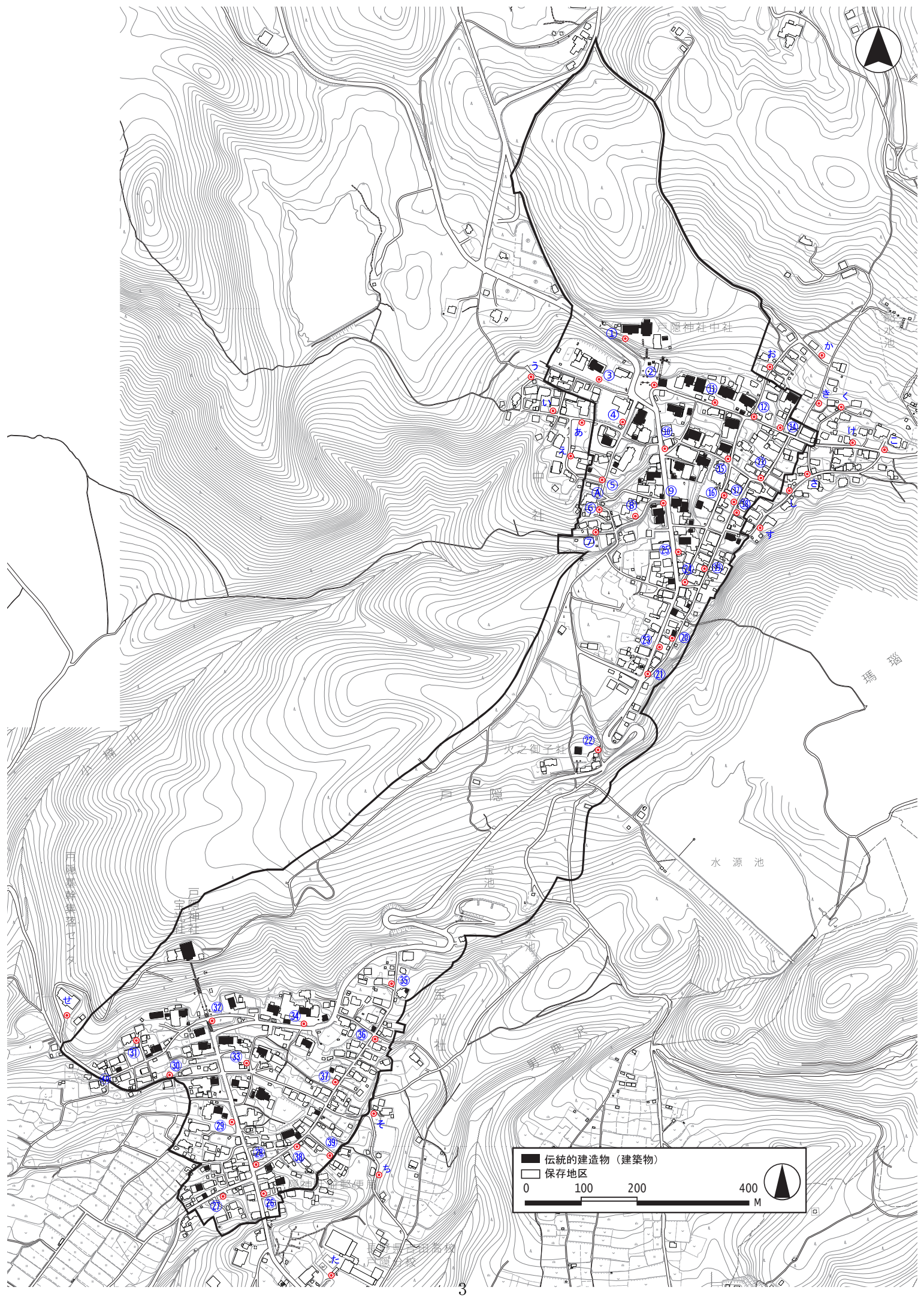


4.6 防災対策事業の全体フレーム

項目	課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他	
1 防災全般	1-(a) 防災に対する理解の促進	1-(a)-① 住民向け防災マニュアルの作成		●					○	◎	○	
		1-(a)-② 防災に関する勉強会の開催		●					○	◎	○	
	1-(b) 災害に強いコミュニティづくり	1-(b)-① まちづくり活動の活性化		●				○	◎			
	1-(c) 効果的な防災訓練の実施	1-(c)-① 発災型の防災訓練の定例実施		●					○	◎	○	
		1-(d) 観光客への対応	1-(d)-① 観光客の一時避難場所・避難所の検討		●					○	◎	
	1-(e) 早期復旧・復興への取り組み	1-(d)-② インバウンドも想定した避難誘導体制の検討		●						○	◎	
		1-(e)-① 応急復旧資材の確保		●						○	◎	
		1-(e)-② 修理工材のストックヤード確保		●						○	◎	
		1-(e)-③ ハリテージマネージャーや職人等との連携強化		●						○	◎	○
		1-(e)-④ 修理履歴や図面の記録保存		●					○	◎		
1-(f) マンパワーの確保	1-(e)-⑤ 古写真や史料の保管・記録		●					○	◎	○		
	1-(f)-① 移住希望者への支援		●						○	◎		
2 火災	2-(a) 出火予防	2-(a)-① 出火リスクの把握と低減、日常点検の徹底		●					○	◎		
		2-(a)-② 老朽化した電気配線・設備の更新		●					○	◎		
		2-(a)-③ 感震ブレーカーの設置		●						○	◎	
		2-(a)-④ 不審火・失火の警戒		●						○	◎	
	2-(b) 早期発見・早期通報	2-(b)-① 住宅用火災警報器の設置・管理の徹底		●						○	◎	
		2-(b)-② 自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化		●						○	◎	
		2-(b)-③ 炎センサーの設置		●						○	◎	
		2-(b)-④ 外部通報システムの整備		●						○	◎	
	2-(c) 初期消火・延焼防止	2-(c)-① 街頭消火器等の配備		●						○	◎	
		2-(c)-② 住民が扱いやすい消火設備の配備		●						○	◎	
		2-(c)-③ 延焼危険度が高い建物への消火設備の設置		●						○	◎	
		2-(c)-④ 飛び火警戒の体制づくり		●						○	◎	
	2-(d) 施設での避難・誘導	2-(d)-① 冬季も考慮した避難経路の確保		●						○	◎	
		2-(d)-② 不特定多数が利用する施設での避難誘導計画等の作成		●						○	◎	
2-(e) 消防活動	2-(e)-① 防火水槽の改修・更新		●						○	◎		
	2-(e)-② 消火栓の改修・新設		●						○	◎		
	2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備		●						○	◎		
3 地震	3-(a) 建物の耐震対策	3-(a)-① 劣化・破損の日常点検と初期補修の実施		●					○	◎		
		3-(a)-② 適切な雪下ろしの実施		●					○	◎		
		3-(a)-③ 耐震診断の推進		●						○	◎	
		3-(a)-④ 構造補強指針の作成		●						○	◎	
		3-(a)-⑤ 建物の構造補強の推進		●						○	◎	
	3-(b) 工作物の耐震対策	3-(b)-① 石垣・石造物等の日常点検の実施		●						○	◎	
3-(b)-② 石垣・石造物等の耐震対策の推進			●						○	◎		
3-(b)-③ 地震時の危険性についての注意喚起			●						○	◎		
4 雪害	4-(a) 建物の補強・改修	4-(a)-① 雪害頻発箇所の補強		●					○	◎		
		4-(a)-② 雪溜まり箇所の腐朽対策		●					○	◎		
	4-(b) 屋根積雪の抑制	4-(b)-① 適切な雪下ろしの実施（再掲）		●					○	◎		
		4-(b)-② 効率的な屋根融雪の調査研究		●						○	◎	
4-(c) 排雪処理	4-(c)-① 適切な隣棟間隔の確保		●						○	◎		
	4-(c)-② 共同排雪場所の確保		●						○	◎		
5 その他災害	5-(a) 土砂災害対策	5-(a)-① 県の砂防事業等との連携		●					○	◎		
		5-(a)-② 避難計画の立案・事前避難等の徹底		●					○	◎		
		5-(a)-③ 伝統的建築物の移転等の位置の検討		●						○	◎	
	5-(b) 倒木・落枝対策	5-(b)-① 樹木の日常点検・管理の実施		●						○	◎	
		5-(b)-② 樹木医診断に基づく樹勢回復		●						○	◎	
		5-(b)-③ 危険木等の伐採		●						○	◎	
5-(b)-④ 無電柱化の推進			●						○	◎		

【実施時期】 短期：1～5年目での実現を目標 中・長期：6年目以降の実現を目標 / 【役割分担】 ◎：主体 ○：支援・協力



中社神社

火之御子社

水源池

■ 伝統的建造物（建築物）
□ 保存地区

0 100 200 400 M

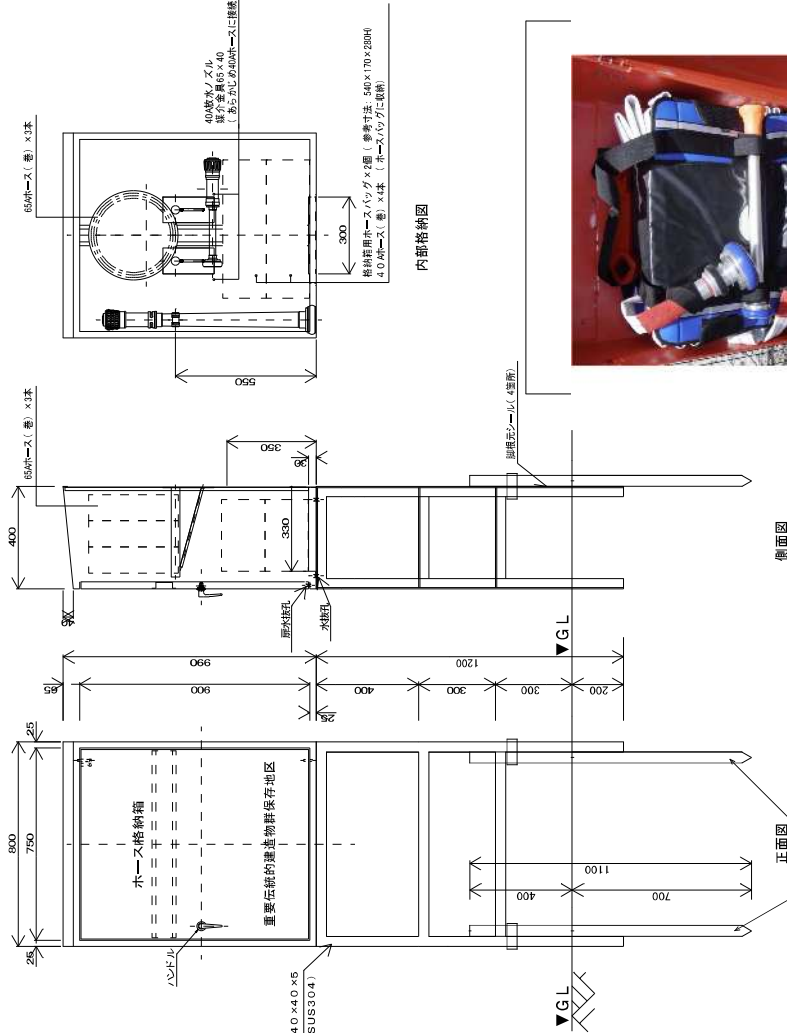
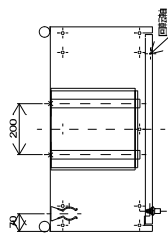
対応番号 ①、③、④、⑬、⑮、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、計 21箇所

仕様
材料 11.6 SUS鋼
塗装 指定色(本体塗装)・アクリル塗料

別途購入

内部格納品：支給品	4本
4.0ホース(巻)	3本
4.0ホース(巻) (器具巻)	1本
5.5ホース(巻) (器具巻)	1本
5.5ホース(巻) (器具巻)	1本
器具巻用5.5×4.0	1巻
器具巻用5.5×4.0	2巻
器具巻用5.5×4.0	1巻

※記載文字：「重要伝統的建造物群保存地区」については参考とする



別途設置工事で購入
2組/格納箱1基当たり
器具巻(くわい)ノズル/器具巻ノズル
の4組、器具巻ノズル/器具巻ノズル
角10×φ48.6
角10×φ48.6



格納箱用ホースバッグ イメージ

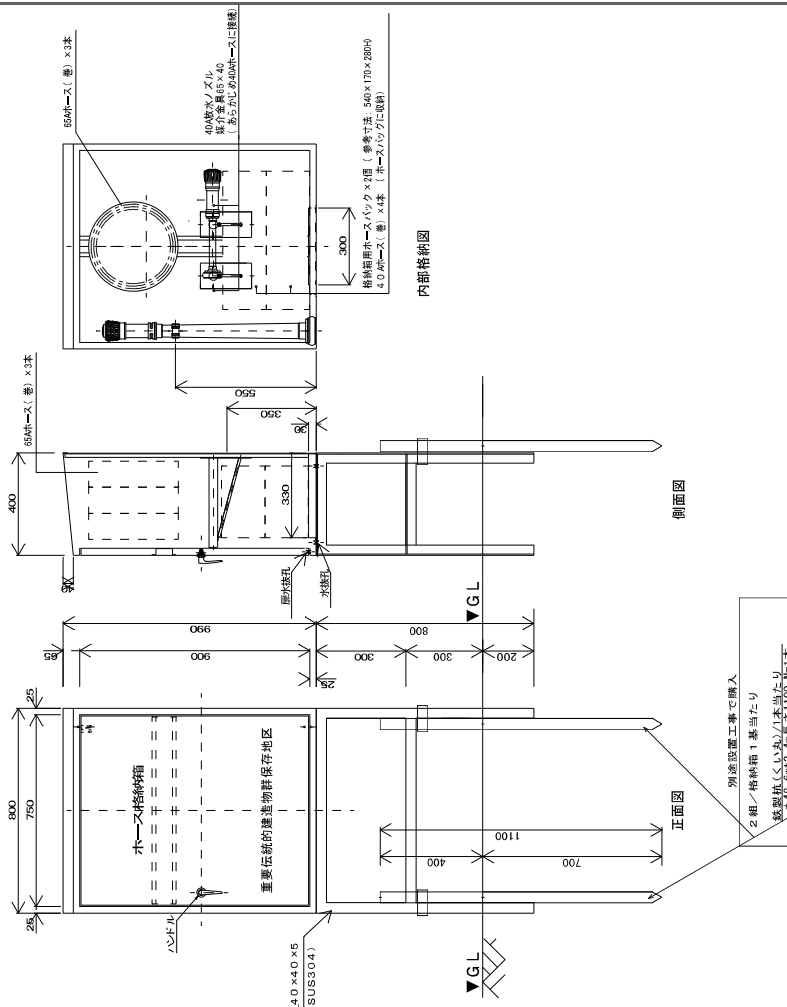
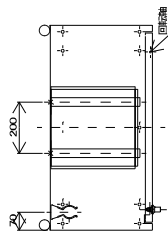
対応番号 ②、⑤、⑧、⑪、⑬、⑭、⑰、⑱、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、計 19箇所

仕様
材料 11.6 SUS鋼
塗装 指定色(本体塗装)・アクリル塗料

別途購入

内部格納品：支給品	4本
4.0ホース(巻)	3本
4.0ホース(巻) (器具巻)	1本
5.5ホース(巻) (器具巻)	1本
5.5ホース(巻) (器具巻)	1本
器具巻用5.5×4.0	1巻
器具巻用5.5×4.0	2巻
器具巻用5.5×4.0	1巻

※記載文字：「重要伝統的建造物群保存地区」については参考とする



別途設置工事で購入
2組/格納箱1基当たり
器具巻(くわい)ノズル/器具巻ノズル
の4組、器具巻ノズル/器具巻ノズル
角10×φ48.6
角10×φ48.6

糸魚川市大規模火災を教訓に作られたホースバッグ

全国に広めよう! 消防と市民と一緒に消火をする新しい戦術

ホース収納箱からホースバッグを取り出し、消火栓に接続。
ホース延長に慣れていなくても、火元に向かって進行する事で
ホース延長が可能。すぐに消火活動に入れます。

受注生産品
※ご注文をいただいてから製造いたします。
※詳細はお問い合わせください。

40mmホース2本をコンパクトに収納できます。

受注生産品
※ご注文をいただいてから製造いたします。
※詳細はお問い合わせください。



ホース収納箱 **開発中商品**

格納箱用ホースバッグ ※ホースなどは、付属されておりません。
■外寸:約W54cm×D17cm×H28cm
■主な仕様:20m消防ホース(40mm)を2本並列に仕切られ、収納することができる。
■側面:取手付。管ぞうを収納できるマジックバンド付。
■ショルダーベルト:耐薬性素材PPベルト ネームタグホルダー付
■色:青色 ■素材:ターポリンポリエステル・ナイロン・反射材
商品番号 097-164-129

この方々を中心に作り上げました!
消防と市民と一緒に消火する戦術

糸魚川市 消防本部 田代 由起人 様
糸魚川市 消防本部 上野 征一 様

消防戦術レポートはこちら!

今までのホース収納箱セット内容との違い

①今までは狭小巻きや二重巻きで収納。
これからは

慣れていないとホース延長が難しい。

②格納箱用ホースバッグに収納した状態で収納。
ホースバッグを取り出し、消火栓に接続。
火元に向かって走るだけ。

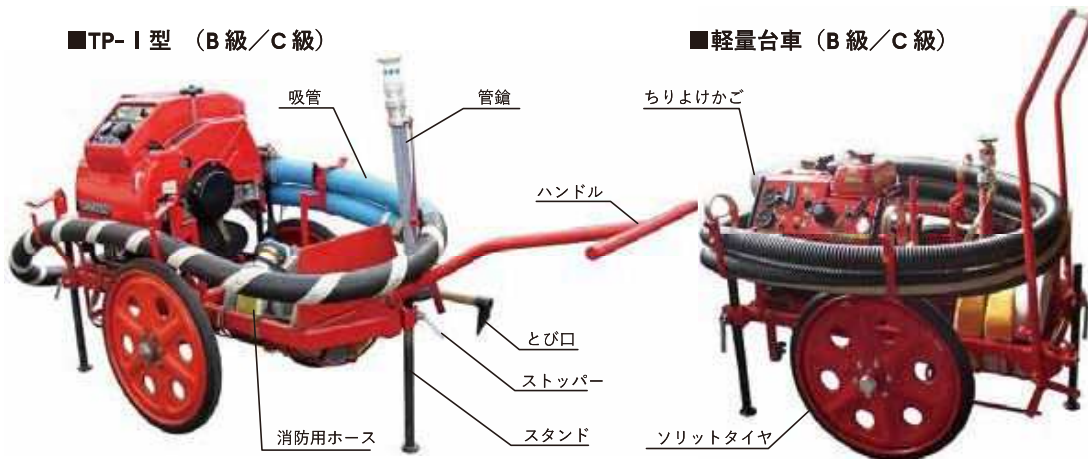
【ホース収納箱内容】
●ホースバッグ2個
40ミリホース対応ホースバッグ (延長用・放水用)
●消火栓ハンドル
●写真付きの取り扱い説明書

格納箱用ホースバッグを使えば一般の方でも簡単にホース延長が可能!!

消火栓にセット 女性でも簡単にホース延長可能 放水

積載台車

可搬消防ポンプの機動力に磨きを掛けるポンプを積載する専用台車です。
 ポンプや付属品はご要望に応じて揃えられますので、民間工場や消火設備の代替、自主防災組織の初期消火に最適です。



■MPC-6 II 型 (D 級・縦型) 省スペース設計



名称	級別	適用	仕様	ホース積載本数	備考
TP- I 型台車	B-1	VE90	横型2輪	φ65mm× 5本	ポンプ、付属品(吸水管/ストレーナー/ポリ籠/ホース/管鉤/とび口等)は、ご要望に応じてお取り揃え致します。
	B-2/B-3	VF63/53			
		VC/VE25			
軽量台車	C-1	VE20	縦型4輪	φ65mm× 3本 φ50mm× 5本 φ40mm× 5本	※写真は一部オプション品を含んでおり実際と異なる場合があります。
	B-3	VF21			
		VE25			
MPC-10型台車	D-1	V10			
MPC-6II型台車					

- 掲載の写真には、一部オプションを含んでいます。
- 写真は、撮影条件・印刷インキの特性などから、実際の色と違って見える場合があります。
- 価格・仕様およびデザイン等は、予告なく変更することがあります。
- 送料は別途。

注意

- ・製品のご使用前に、取扱説明書 保証書 等をよく読んで下さい。
- ・また、製品のコーションラベルの表記内容もご確認ください。
- ・安全のため 定期点検 整備を施行しましょう。



トーハツ株式会社 www.tohatsu.com

本社 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
 TEL 03-3966-3115 FAX 03-3966-0090
 大阪営業所 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満 1-8-27
 TEL 06-6358-2971 FAX 06-6358-3176

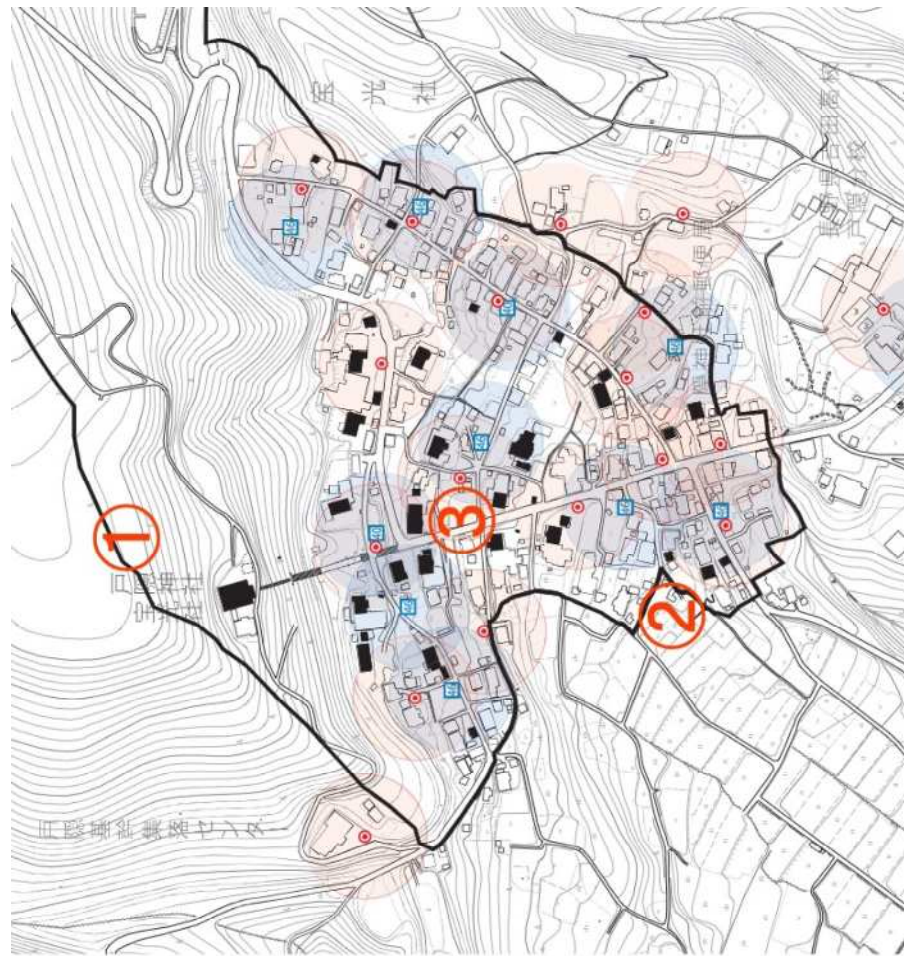
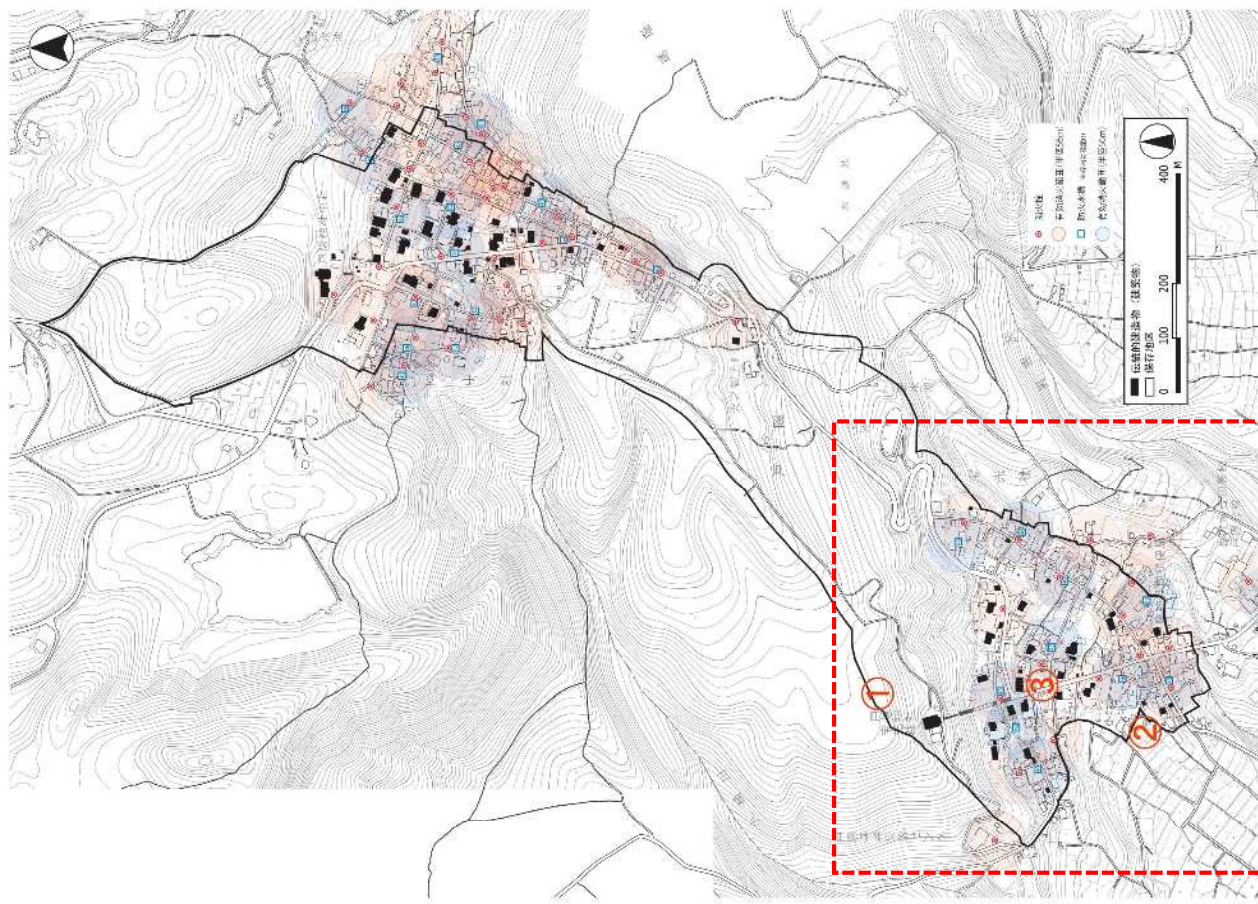


トーハツ製品のお問合せ、お求めは下記の販売店へ

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区 | 技術的検討について

(1) 耐震性貯水槽新設(消防水利不足エリア)

- 1) 消防水利不足エリアの確認と設置の候補地



2) 候補地に設置した場合の条件整理（技術的課題）の整理

- ・防災計画／防災計画報告書から、ある程度整理可能。

工法	設置場所			備考
	①：最有力	②	③	
設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に戸隠神社が独自に貯水槽を整備していた場所（現在は壊れており使用不可）。 ・戸隠神社所有地で、設置について宮司さんの内諾はいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人所有の民地に設置することとなる可能性大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宝光社地区で茅葺き建物が集中するところ（絶対に焼失させたいけないエリア）。 	
貯水槽の容量	<ul style="list-style-type: none"> ・公設消防隊がするまでの間（20～50分間）連続放水ができる水量が望まれる。 ・40tの場合、65mmホース2線で連続40分の放水ができる計算（加圧ポンプが必要）。 			
施工	<ul style="list-style-type: none"> ・旧防火水槽設置の際に使用した作業道あり。道の現状、通行できる工事車両の大きさなどの施工条件などは要確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所に至る道幅も決して広くはないので、同様に施工条件は要確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的施工性良い。 	
整備後の貯水	<ul style="list-style-type: none"> ・小型タンク車で何度も水運ぶか、付近を流れる水路から水を入れる（以前は後者の方法で貯水）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の消火栓から消火ホースをつないで貯水槽内に水を貯めることが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型タンク車、消火栓どちらからでも注水可能。 	
権利関係	<ul style="list-style-type: none"> ・設置可能な私有地はない。 			
運用上・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には土地所有者の承諾を得て市が設置（賃借料なし） 			
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なアクセスに難があるので、消防局での管理を断られる可能性大。 			<ul style="list-style-type: none"> ・H29・30年度に街なみ環境整備事業で整備した耐震性貯水槽2基は消防局管理。
許可手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・県史跡内のため県教育委員会の現状変更許可が必要。同様に、妙高戸隠連山国立公園内のため環境省の許可も必要。 ・伝建地区の現状変更手続き、埋蔵文化財包蔵地に係る手続きなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝建地区の現状変更手続き、埋蔵文化財包蔵地に係る手続きなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝建地区の現状変更手続き、埋蔵文化財包蔵地に係る手続きなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも必要な手続きが無いか要確認
コスト等	概算工事費			
	想定工程表			